



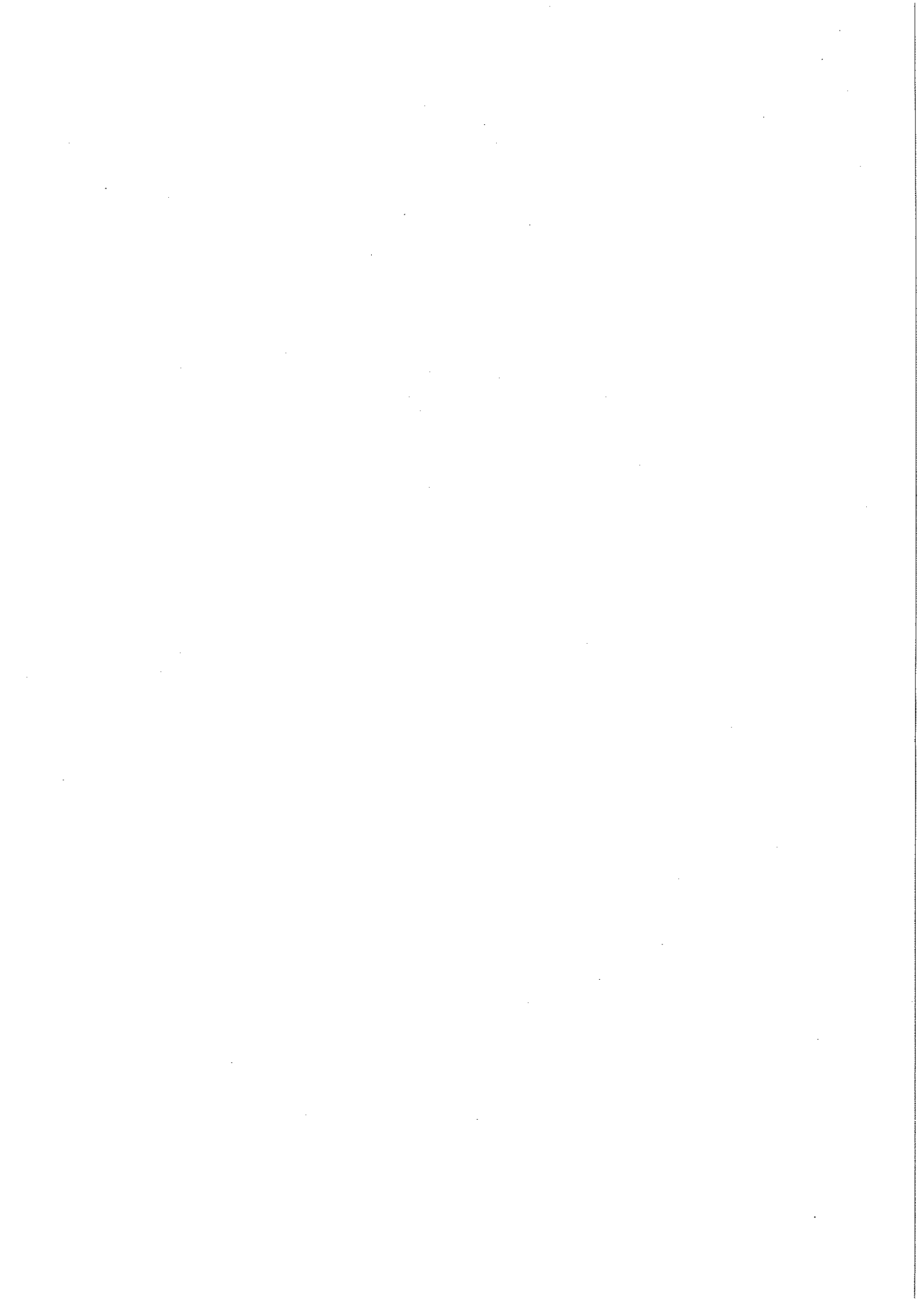
平成21年度

倉敷市市民企画提案事業の審査について

答 申

平成21年3月25日

倉敷市市民企画提案事業審議会

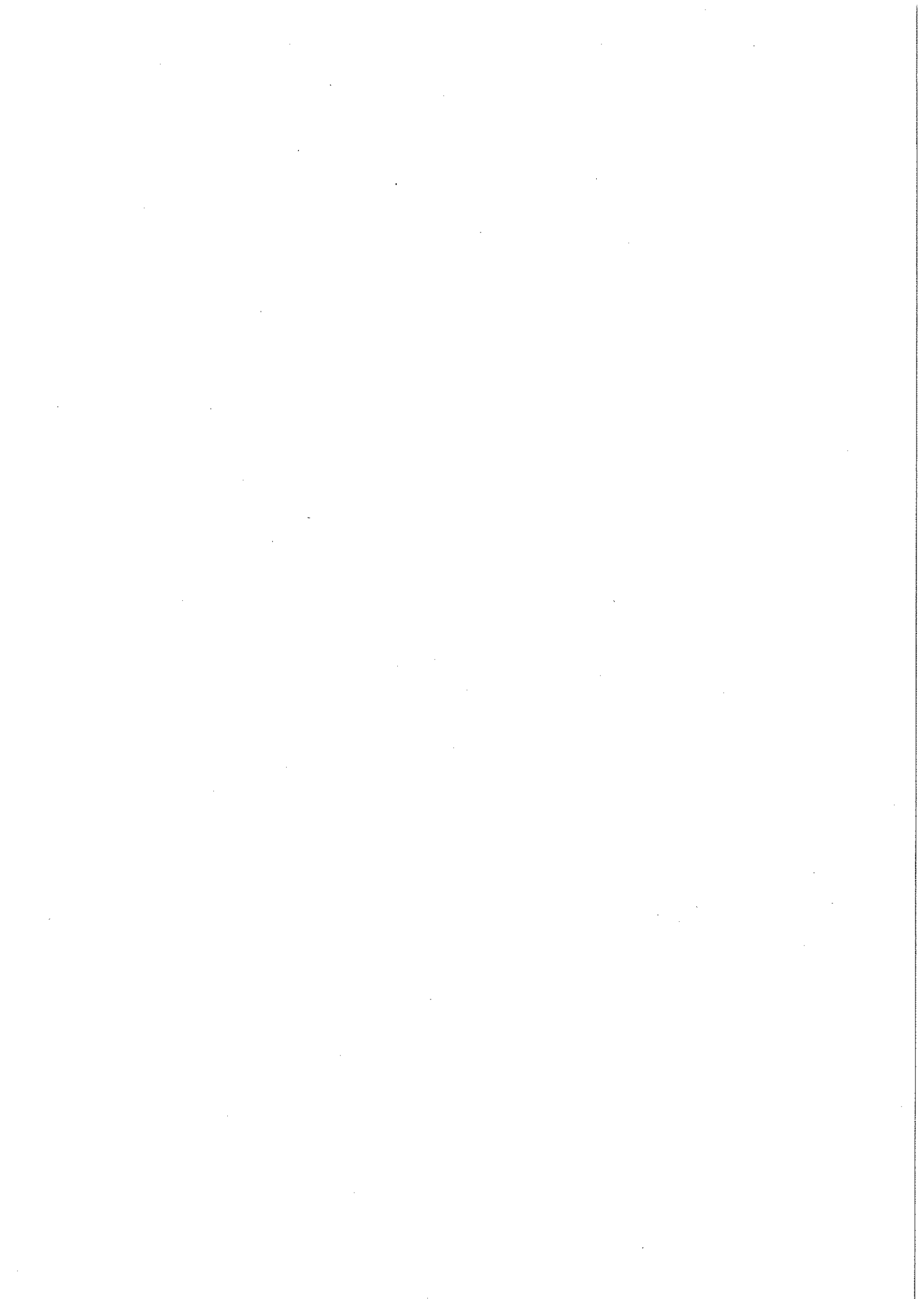


平成21年度

倉敷市市民企画提案事業の審査について（答申）

目 次

	頁
市民企画提案事業審査結果 . . . . .	1
委員名簿 . . . . .	9
参考資料	
（1）諮問書 . . . . .	10
（2）倉敷市市民企画提案事業審議会条例 . . . . .	11
（3）倉敷市市民企画提案事業実施要綱 . . . . .	13



倉敷市市民企画提案事業審議会は、倉敷市が実施した平成21年度倉敷市市民企画提案事業募集において、審査を行う機会を与えられました。

各事業を評価、審査するにあたり、本事業の実施により、協働による行政運営の機運が高まったことを期待して審査会に臨み、本事業が地域の活性化や社会環境等の改善につながり、市民サービスの向上に寄与することを念頭に、公益性、中立性、協働性の観点から、事業の目的、事業内容、予算案等について慎重に審議しました。

審議会では、公開プレゼンテーションで疑問点について、提案団体に回答を求めながら、当初の事業提案書だけでは判断しきれない提案の可能性と提案団体の姿勢の検証に努めてきました。

最終的に、これらの検証結果を踏まえ、公益性、計画性、協働性や独自性・将来性などを判断する総合評価方式で評価・選定を行いました。

結果として、提案された7件の事業全てが採択基準点を超えることになりました。

講評については、次の「審査結果及び講評」に併記させて頂きました。

最後になりますが、倉敷市市民企画提案事業の事業目的に御理解いただき、さらには審査にかかる質問等に関しても丁寧に対応して下さった関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成21年3月25日

倉敷市市民企画提案事業審議会  
会長 鈴井 江三子

### 【選考過程】

事前に配布された事業計画書、収支予算書及び担当課意見書を基に、2月14日に開催された公開プレゼンテーションにおいて、提案団体による事業計画や収支予算に関する説明と、担当課による意見発表、審議会委員による質疑応答を行った。

審議会では、当初の提案書で事業計画の不透明な箇所や、精査の必要がある箇所について、質疑応答の中で書類では見えてこない団体の考えや計画を聞き、問題となる可能性がある点については改善を促すとともに、事業の公益性、中立性等についての判断を行いながら、担当課との調整協議の内容、行政側の意見についても吟味し、協働性についても審査した。

最終的には、市民提案部門・行政提案部門とも、公益性・中立性・協働性だけでなく、事業実施における費用負担・人材配置、独自性や将来性などを判断基準とする総合評価方式で審査した。

【選考基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は審査を外れることとし、各委員ごとに基準Ⅰの項目をすべて満たす提案について基準Ⅱの採点を行うこととした。基準Ⅱの点数については、提案事業ごとに各委員100点を持ち点とし、全委員の得点のうち最高点及び最低点を除いた得点の平均点を評価点とし、採択基準を50点以上とした。

審査項目(公開)		審査のポイント		配点
基準Ⅰ	公益性	A	不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業である	はい いいえ
	中立性	B	市が補助することについて、疑義が生じる要素がない	はい いいえ
	協働性	C	市民団体と行政が協働すべき領域で、市民団体が取り組む方が効果があがる事業である	はい いいえ
	全項目「はい」か			はい いいえ
基準Ⅱ	① 目的 (公益性・重要性・緊急性)	1	不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業である	20
		2	市民団体と行政が協働すべき領域に属する提案(課題)内容である	
		3	課題の緊急性や重要性が具体的に示されている	
		4	その目的や緊急性・重要性は、事実に基づき確認している	
		5	その課題になぜ取り組まなければいけないのかというニーズに共感できる	
	② 事業内容 (計画性)	6	市が補助することについて、疑義が生じる要素がない	20
		7	目的に沿った事業計画がつけられている	
		8	実施にあたり、十分な準備期間・手段が取られている	
		9	実施時期は適当である	
		10	より多くの人が参加できるような工夫がある	
		11	地域住民の理解を得られ、市民満足度が高まる内容である	
		12	提案団体の特性(ノウハウ)を活かした内容である	
	③ 費用負担	13	収支計画は適切である	10
		14	申請金額は適切である	
		15	自己資金の調達は担保されている	
		16	予算配分は適切である	
	④ 人材配置	17	計画を遂行する技能・能力(人的資源)がある	10
		18	ボランティアスタッフの力を生かす組織となっている	
	⑤ 協働性	19	市民団体と行政が協働すべき領域で、市民団体が取り組む方が効果があがる事業である	20
		20	提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当なものである	
		21	市(行政)に求めている役割(協働内容)は具体的かつ適切である	
	⑥ 独自性・将来性	22	先進的・先駆的な事業内容である	20
		23	発展性・普及性がある事業内容である	
点数合計(100点満点)				

## 審査結果及び講評

平成21年度新規事業として、市民提案部門では6件、行政提案部門では1件の合計7件の新規事業が提案された。市民提案部門で、高い評価を受けたのは、「いきいきたんぼ食育大作戦」であり、親子で米作りと収穫を行い、また夏休みに地産地消をテーマとした料理教室を開催するものであった。提案団体の活動実績を基に具体的に事業計画が提示され、現実性もあることから効果が期待された事業であった。

その他の市民提案部門事業は、防災をテーマにした提案が1件、環境問題をテーマにした提案が2件、観光、市街地活性化をテーマにした提案がそれぞれ1件ずつであったがそれぞれ特色のある提案であった。

「災害に強い自立した市民づくり講座」は、防災対策に関する市民の意識啓発活動を目的として、被災地での学習や避難所訓練等、全7回の研修が企画されており、住民の生活ニーズに合った内容であった。

「酒津のホテル復活プロジェクト」は、環境改善に向けた取り組みであり、従来の河川ではなく酒津公園に設置された人工構造物を用いたホテルの共生を目的としており、また、「自然エネルギー利用普及啓発活動」は、自然エネルギーに対する意識の啓発を促すための講習会が企画されており、時代のニーズに応える提案であった。

その他、「倉敷観光キャラバン隊」、「倉敷まつり」等の事業では、中心市街地周辺に焦点を当てて、観光客を対象にした案内や音楽祭を企画し、地域の活性化を促す取り組みをするものであり、市民企画提案事業の趣旨に沿った内容であったといえる。

一方、行政提案事業では、「市民活動パワーアップのための調査・研究事業」が提案され、市民活動の困りごとに焦点を当てて、課題抽出や解決策を模索するなど、調査研究を行う事業内容であり、今後の市民活動の発展のために、大いに期待される内容であった。

公開プレゼンテーションでは、各提案団体の活動に対する熱意を感じる一方で、事業計画や予算案が書類だけでは読み取れない事業も見受けられた。事業計画については受益者としての視点での立案が望まれる。

今後、市担当部署等関係者と調整を図り、より公益性の高い事業計画として実施されることを期待するところである。市担当部署においては、団体の自主性・自立性を尊重しつつ、本審議会の助言について真摯な検討を経た事業となるようお願いするものである。

最後に、市民提案部門では、イベント的な提案が主流であり、新たな公共サービスに発展する可能性のある提案内容が少なかったことは残念である。事業募集のあり方だけでなく、本事業の今後のあり方を再考する時期にあるのではないかと考える。



各事業講評

市民提案部門

事業名	いきいきたんぼ食育大作戦
提案団体 市担当課	いきいきたんぼ食育協議会 健康づくり課
提案事業 概要	倉敷市内の親子が参加し「田植え」を行う 食育講座・親子郷土料理教室を開催 手刈りによる稲刈り 収穫祭を行い、参加者へアンケートを実施する
講評	本事業は、親子が参加して行う米作りと収穫、夏休みの料理教室を通して、子どもたちが食の大切さを学ぶ事業であり、最も高い評価を受けたものである。事業を実施するに際しては、会を構成する団体が FM くらしきや JA 団体ということもあり、メディアや地元組織を上手に利用することが望まれる。また、参加者募集の方法や活動内容はこれまでの実績を基に計画しており、具体性、現実性も評価できるものであったが、親子の参加人数が 120 人と限定されていることから、広く倉敷市全体に広報し、参加人数や機会の拡大を考慮されること等を要望する。

事業名	倉敷の水源・酒津からホタル復活プロジェクト
提案団体 市担当課	酒津のホタルを親しむ会 耕地水路課
提案事業 概要	永続的にホタルが復活し自然再生できるよう、酒津の配水地周辺にビオトープ（ホタルが生息できる人工水路）を整備し、その実験結果に基づいて農業水路の環境整備に取り組む。
講評	蛍の復活と、農業用水を供給するための人工構造物の共存を目的に企画した事業であり、市民の環境問題に対する意識を高める意味からも重要な事業であると高く評価されたものである。また、地元の子も参加して幼虫の放流をするなど、子どもの健全育成の視点からも評価できる。その一方、蛍を放流する自然環境は三方コンクリート水路であり、幼虫が定着しにくい環境であることから、ビオトープでの実験結果の分析を充分に行い、護岸環境にも目を向け放流のみで終わらないよう、工夫することが大切である。

事業名	「災害に強い 自立した市民づくり」講座 (倉敷市民の皆様に 災害に備える, 自助・共助を学ぶ機会を…)
提案団体 市担当課	倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会 防災危機管理室
提案事業 概要	野島断層視察研修をはじめ 実践的な講座を全 7 回行い, 主に自助・共助の部分 を学ぶ。そして一人でも多くの人と災害について話し合い, 自ら出来る事を 実践に結びつけるように勧め, 災害に強い街づくりをめざします。
講評	本事業は, 防災対策に関する市民の意識啓発活動を目的とした事業である。 事業内容は, 被災地での学習, 避難所体験等, 計 7 回の活動として具体的に計 画されたものであり, 市民にとって必要なことであると高い評価を受けた。さ らに, 事業内容をより充実するために, 各地域にある自主防災組織との連携を 密にとり, リーダー養成も兼ねたものとするのが要望される。開催日に関し ては担当課とも調整を図り, 多くの人に参加できる曜日, 時間を設定すると ともに, 広く倉敷市全域の住民参加を促すために, 広報活動に工夫を凝らして いただきたい。

事業名	倉敷まつり
提案団体 市担当課	倉敷まつり実行委員会 産業振興課
提案事業 概要	中心市街地における音楽コンサート。 商店街エリアでの音楽コンサートを通じてたくさんの方に来場して頂く。賑わ いのある活気あふれる街に地域と共に推進する。現在倉敷で頑張っているアマ チュア音楽家を中心に出演。
講評	本事業は, 中心市街地を活性化させることを目的に行われる取り組みとして評 価された。事業内容としては, 音楽, 大道芸人等のパフォーマンスを誘致し, 会場は空き店舗を利用することで, 若者等, 出演者が費用を掛けずに活動す る場を提供するものである。しかし, 多数の来場者への安全対策や騒音, ごみ対 策や駐車場の確保が課題であり, それらの対応策を担当課と調整するなど明ら かにして, 地元商店街の十分な理解・協力を得ながら進めることが重要である。

事業名	倉敷観光キャラバン隊
提案団体 市担当課	倉敷の踊り振興会 観光企画課
提案事業 概要	観光客も年々減少の傾向をたどっているため、元気のある明るい倉敷（町おこし）を作る為、白壁の町に似合う着物を着てあたたかおもてなしの心で道案内をしたり、日本伝統文化のお茶を体験していただき、帰られた時倉敷で楽しかった事を伝えていただきリピート客を増やし、美観地区周辺の活性化になる様な思いで実現する（観光客と一緒に着物を着て案内する）
講評	本事業は、美観地区周辺をより活性化させるために、着物、お茶等の活動を通して、観光客をもてなすことを目的としたものである。事業目的としては大切なことであり、地域にとっても利益のあることである。事業実施に際しては、観光客を対象としているため、実施場所、曜日、時間などの周知の方法について担当課とも連携を図り、詳細計画を告示しPRに努める必要がある。

事業名	自然エネルギー利用普及啓発活動
提案団体 市担当課	NPO法人 自然エネルギー・環境協会 環境政策課
提案事業 概要	地球温暖化防止対策について、各所でプレゼンテーション、パネル展示、家庭の省エネ診断などを開催し、自然エネルギーの利用機器・省エネルギー設備による二酸化炭素削減事例を広く知らしめることにより、市民の二酸化炭素排出抑制活動への参加意識を高める。
講評	本事業は、自然エネルギーの利用や省エネルギー機器の導入等の啓発活動を目的としたものであり、二酸化炭素排出抑制は、地球温暖化対策として現在求められている事業であると評価された。事業計画のうち、家庭の省エネルギー診断は光熱水費の領収書が必要であるなど、個人生活のプライバシーに関わる部分でもあるので、十分な配慮を求めるものである。また、省エネルギー機器に関しては特定企業の商品紹介ではないことが分かるような配慮が必要である。

行政提案部門

行政提案部門の事業は、市が求めるテーマを実践する内容であるかどうかについても審査の対象とし、市が求める内容と団体が提案する事業の内容が一致していることを確認した。

事業名	市民活動パワーアップのための調査・研究事業 ー市民活動の共通課題にネットワーキングで取り組む場づくりー
提案団体 市担当課	くらしきパートナーシップ推進ひろば 市民活動推進課
提案事業 概要	NPO、学識経験者、近隣支援センター、県民局、市、等、多様な参加による研究会を開催。NPOへのヒアリング、アンケートによる調査を多面的に進め、セクター全体の課題や今後必要な対策の明確化を目標とする。
講評	本事業は、市民活動をより活性化させるためには、何が必要であるのかを明らかにする調査研究である。市民と行政の協働を推進する上でも重要な基礎資料となるものと期待するところである。調査内容として、市民活動を実施するうえで、困ったことややり難かったこと等、問題点を調査するだけでなく、活動団体の優れている点も調査することを望む。また、人件費総額の設定も高いことから人件費の処理についても留意する必要がある。

## 倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿

	氏 名 (敬称略)	所 属 等
	あだち れいと 安達 励人	倉敷市立短期大学 准教授
	おざき ひろこ 尾崎 浩子	水島おかみさん会 会長
副会長	かわべ せいいちろう 河邊 誠一郎	倉敷の自然をまもる会 会長
	こやま ねつし 小山 悦司	倉敷芸術科学大学 教授
会長	すずい えみこ 鈴井 江三子	川崎医療福祉大学 教授
	つちや ひとみ 土屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび 代表
	はらだ じゅんこ 原田 純子	市民
	ひらい けんじ 平井 健司	倉敷青年会議所 常任理事
	まきの ようこ 牧野 陽子	市民
	もりひろ のぶゆき 森廣 伸之	岡山県備中県民局協働推進室 室長
	もりもと きよし 森本 潔	児島商工会議所 事務局長
	もりや みゆき 守屋 美雪	ふるさとももたろう塾 卒業生

50音順

